

いたくら 議会だより

今月の 主な内容

- ◆9月定例会可決議案 …………… 2 P
- ◆一般質問 …………… 4 P
- ◆平成24年度決算認定 …………… 10 P
- ◆議会日誌・議長室エッセイ …………… 13 P
- ◆町政へ一言 …………… 14 P

2013 11 / 1

第127号



語りをかけて地区対抗リレーで競う
10月13日(日)第49回町民体育祭開催

平成25年第3回定例会は、9月10日から20日までの11日間の日程で開催されました。

今回の定例会では、諮問2件、同意4件、報告1件、条例制定1件、財産の無償譲渡1件、補正予算4件の12議案について可決しました。また、平成24年度板倉町一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算の6議案を認定しました。



諮問・同意・報告・条例制定・補正予算・決算認定など19議案を可決

一般会計・特別会計を追加補正 平成24年度決算を原案どおり認定 一般質問には6名が登壇

9/10(火)
議会初日

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員は法務大臣が委嘱するもので委員の推薦については、議会の意見を聞いて推薦します。人権擁護委員の馬場信雄さんと渡邊宗一さんを引き続き推薦することに同意しました。

◆板倉町公平委員会委員
板倉町公平委員会委員である関根和雄さんを引き続き選任することに同意しました。また同じく委員である石井榮公平委員より任期満了により

辞任の申し出があり、後任として下山伯四郎さん(大字大高嶋)を選任することに同意しました。

◆板倉町固定資産評価審査委員会委員
板倉町固定資産評価審査委員会委員である小島輝男さんを引き続き選任することに同意しました。

◆監査委員
監査委員である高瀬博通さんを引き続き選任することに同意しました。

報告

◆平成24年決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
健全化判断比率については実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標で構成

されます。当町においては、実質赤字ではないため、実質赤字比率は算定されません。連結実質赤字比率についてもすべての会計が実質赤字及び資金不足ではないため、算定されません。次に、実質公債費比率は、9・2%で前年対比1・9%減となりました。また、将来負担比率は、町債残高などを主とした将来の負担額より標準財政規模に占める割合が上回ったため、将来負担比率は算定されません。資金不足比率については、公営企業会計(水道・下水道事業会計)ごとに算定し、いずれも資金不足ではないため、資金不足比率も算定されません。

条例制定、その他

◆板倉町子ども・子育て会議

条例の制定について

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき、同項各号に掲げる事務を処理するとともに、町が実施する子ども・子育てに関する施策について調査審議する機関として、板倉町子ども・子育て会議を設置いたしたく、同会議条例を制定するもの。

◆財産の無償譲渡について

地縁団体である第21区自治会から要望のありました町有地の無償譲渡に関し、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議決を求めるもの。

補正予算質疑

議案第40号 平成25年度板倉町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,935万円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億43万9千円とするもの。

青木議員

農産物直売所運営補助金300万円ですが、季楽里の営業について改善される見通しもないようだが運営についてどのように考えているのか。

A 産業振興課長

季楽里については、発足当時から厳しい状況で進んできている。運営をいろいろ検討してお店の内装を変えたり、食堂の入口を変えたりして昨年9月にリニューアルオープンをしたが、お客さんは増えてきていないのが現状。直売所というほかに、町の魅力を発信する施設も兼ねているのでこの形で存続できればと考えている。

Q 黒野議員

二本木のエノキが残念ながら枯れてしまった。南側のケヤキもこの際に伐採して復元をする際には2本のエノキが植えられればと思うが。

A 栗原町長

北地区の方にいろいろ意見交換を行った結果、ケヤキは今のまま残すことになった。今回の補正は、エノキの伐採と根っこまでの掘り起こし作業となつている。その後植え込みの予算付けを行うもの。

Q 今村議員

橋梁長寿命化事業において、蛭田橋下流側橋を修繕工

事を行うということだが、通路路にもなつていて、長年南地区として歩道に対応してほしいと要望しているがどうなっているのか。

A 都市建設課長

蛭田橋修繕工事の関係については、橋台、橋の金属部分、雨どいの修復となつており、歩道部分は入つていません。

A 栗原町長

歩道が必要であるとの陳情はいただいているが、莫大な費用が予想されるために土木事務所との調整がつかず、現状の橋の幅で歩道優先の白線を引き安全を図るべく措置を講じている。

Q 荒井議員

二本木のエノキ伐採関係であそこには道標となる石仏があるがどうするの。

A 教育委員会事務局長

二本木には4つの庚申塚が立つていて管理は地元で行っている。石仏自体はいじらないで現状のままの保存を考えている。

Q 延山議員

農地・水保全管理支払交付金ということで追加が出ているが、どのような理由なのか。

A 産業振興課長

5つの組合が活動しているが、その中の下五箇南部むらづくり推進協議会が向上活動という新たな計画に取り組むことによる補正になつており、具体的には水路、水槽の改修、また水路に機場を設けて地域全体の用水の改善を図る計画になつている。

※議案40号は、原案のとおり、可決されました。

議案第41号 平成25年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,910万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億9,022万8千円とするもの。

※議案41号は、原案のとおり、可決されました。

議案第42号 平成25年度板倉町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,388万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ11億4,517万6千円と

決算認定説明

◆認定第1号 平成24年度板倉町一般会計歳入歳出決算認定について

◆認定第2号 平成24年度板倉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◆認定第3号 平成24年度板倉町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

◆認定第4号 平成24年度板倉町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

◆認定第5号 平成24年度板倉町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◆認定第6号 平成24年度板倉町水道事業会計決算認定について

※議案42号は、原案のとおり、可決されました。

議案第43号 平成25年度板倉町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から、それぞれ30万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億8,335万5千円に補正するもの。

※議案43号は、原案のとおり、可決されました。

| 項目 | 補正額(単位:千円) | 予算総額(単位:千円) | 可決補正予算 |
|------------|------------|-------------|--------|
| 一般会計 | 49,350 | 5,200,439 | |
| 国民健康保険特別会計 | 19,107 | 1,990,228 | |
| 介護保険特別会計 | 23,889 | 1,145,176 | |
| 下水道事業特別会計 | △300 | 183,355 | |

一般質問

議会 2日(木) 9月11日(木)

① 森田 義昭 議員

渡良瀬遊水地を利活用した観光振興を願う
通学路での事故多発、町の安全対策を問う



熱気球の事故について

問・6月23日、当町の防災訓練まさにその日に、渡良瀬遊水地において熱気球落下事故による死亡事故が発生した。この事による当町としての対処法を伺いたい。

答・企画財政課長 熱気球に

問・当町で起きた熱気球の事

答・企画財政課長 ラムサール

故であり、しかも空から落ちてくる。今回は渡良瀬遊水地で起こったが、学校や民家へでも落ちた場合を考えて、なんらかのルール作りが必要かと思うが意見を聞きたい。

答・町長 基本的には事故であるから、どんな制限をしたとしても、避けられないと思う。ただ、これを機会に、町民の安全を考え、安全管理の申し入れをしっかりと担当課から相手方に対して届けさせたい。

問・ラムサール湿地登録を受けて渡良瀬遊水地をどのように生かしていくのか伺いたい。

答・企画財政課長 ラムサール

問・ラムサール湿地登録を受けて渡良瀬遊水地をどのように生かしていくのか伺いたい。

答・企画財政課長 ラムサール

渡良瀬遊水地の利用という観点から、渡良瀬遊水地を利活用して観光振興を願う

町のセールスポイントとして渡良瀬遊水地の利活用を願う

①ラムサール条約では、湿地の生態系や、湿地から得られる恵みを維持しながら、私たちの暮らしと心がより豊かになるように湿地を活用し、賢明な利用を進めている。未来の子供達にもその恵みを受けさせる、そういった義務が当町にはあると考える。2020年にオリピックが東京に決定した。あと7年、おもてなしの心で知恵を出し合い、世界中の人が板倉町へ来てもらいたいと願う

ている。渡良瀬遊水地を初めとした町独自のセールスポイントを使い、町の観光振興を進めてもらいたい。

安心・安全な通学路について

問・最近、通学路での事故、事件が多発しているが、当町の取り組みについて伺いたい。

答・教育委員会事務局長

問・通学路の点検が行われていると聞いていますが、その点検後、横断歩道を南側へ



▲点検後、横断歩道を南側へ

これはどのように行われていて、どのように生かされているのか。

答・教育委員会事務局長

問・全国統一学力テストの公表はしないはずだが、学校の成績公表の是非をアンケート調査する聞いた。意見を伺いたい。

答・教育長

問・全国統一学力テストの公表はしないはずだが、学校の成績公表の是非をアンケート調査する聞いた。意見を伺いたい。

答・教育長

問・全国的に見て、適正規模(1学年2学級、3学級)に至らない小規模校の学校が、年々増加している。小学校区は、地域コミュニティの中心であると同時に、歴史と伝統を併せ持っている。学校は、地域の教育のみならず、防災拠点など複合的な役割も担っている。しかし、児童たちの教育環境の整備を考えるならば、将来への展望を含め基本方針を作成し、積極的に情報発信し、議論を展開すべきと考えるが。

一般質問

議会 2日(木) 9月11日(木)

② 小森谷幸雄 議員

小学校の再編・統合問題を議論すべき
就学前から一貫した教育体系の確立を



就学前の保育における課題は

問・新たに制定された子ども・子育て支援制度に基づき、板倉町子ども・子育て会議条々が制定された。就学前の保育・教育行政に対して、一層の充実が求められている。当町における課題は。

答・福祉課長 就学前教育・

問・新たに制定された子ども・子育て支援制度に基づき、板倉町子ども・子育て会議条々が制定された。就学前の保育・教育行政に対して、一層の充実が求められている。当町における課題は。

答・福祉課長 就学前教育・

問・就学前の保育・教育環境を充実させるために、縦割り行政から関係部署が一堂に介して相互協力を図り、問題点や課題を共有し、改善を図る仕組みは出来ているのか。

答・福祉課長 所管が教育委員会、福祉課、また公立・私立という枠組みの中で、全体的・組織的な制度はない。それぞれの組織の中で、委員会や協議会が設置されている。将来的には、子ども・子育て会議で意見交換を行い、改善を図りたい。担

当部署の一元化も検討すべきと考えている。

問・幼稚園や保育園の就学前教育・保育、小学校、中学校課程と、育てる方向性に一貫性を持たせた指導・教育体系を確立し、成果を上げている自治体もある。当町では、関係機関全体での意見交換・交流はあるのか。

答・教育長

問・現状を踏まえて、学校関係者・保護者に対して、当町の考え方、将来展望を発信すべきと考えるが。

答・教育長

問・当町では少子化対策の一環として、就学前の保育・

問・現状を踏まえて、学校関係者・保護者に対して、当町の考え方、将来展望を発信すべきと考えるが。

答・教育長

問・全国的に見て、適正規模(1学年2学級、3学級)に至らない小規模校の学校が、年々増加している。小学校区は、地域コミュニティの中心であると同時に、歴史と伝統を併せ持っている。学校は、地域の教育のみならず、防災拠点など複合的な役割も担っている。しかし、児童たちの教育環境の整備を考えるならば、将来への展望を含め基本方針を作成し、積極的に情報発信し、議論を展開すべきと考えるが。

答・町長

一般質問

議会2日目
9月11日(水)

③青木

秀夫 議員

議会の活性化には
職員の議会・議員への親切心が必要不可欠



で議会開会日3日前までに告示しなければならぬこととなっているので、例年その3日前までに、議案書と一緒に決算書を議員に配布している。

ページである。それを議会開会日の3日前に配布されて、それを全て理解するということは、不可能であると思っている。



親切心が欠如しているのでは

説明は日常語を用いて親切に

問・執行部と議会は、住民福祉向上の実現など共通の目的・課題を持つていて、車の両輪などと形容されている。決して利害対立関係にはないはずである。そういう関係の中で、共通の目的・課題を議論するためには、事前のしかもわかりやすい行政資料提供を必要としている。通常、決算書は議会開会日の何日前に議員に配布されているか。

問・6会計合わせると338ページと相当のボリューム。しかも、説明らしき説明もない決算書が、議会開会日3日前に配布されている。3日前は配布の最終期限である。親切心があるならば、3日前でなく10日前・20日前に配布すべきではないか。

問・財政力指数・比率などの算出が法律で義務づけられているからといって、ただ算出しただけでは、職員の骨折損のくたびれもうけである。それらの数値を活用しないと、意味がないと思う。財政健全化判断比率などの数値算出の目的、活かし方について、執行部と議会ですべての機会をつくる必要があるのではないか。そうすることが、議会活性化に結びつくことになると思うが。

答・企画財政課長 財政健全化判断比率をはじめ財政力指数については、確かに私を含めて非常に難しいと思っている。健全化判断比率などについて、議員に説明する機会を設けていただければ、説明したいと思っている。また、我々が使っている行政用語にわかりづらいつとところがあるのは、議員指摘の通りであると思っっている。今後はいろいろな機会に、可能な限り日常語に置きかえる説明に取り組んでいきたい。

説明力・理解力アップに
執行部・議会、合同の研修を



▲議会活性化に向け執行部へ問う

を理解することになり、財源を踏まえた中長期の事業計画やまちづくりの議論ができる議会にすることが、議会活性化の真の目的であると思うが。

答・町長 私も議員出身の町長であり、議員の心理状態、立場も理解している。一般論として、公務員は防衛型、質問を受けたものだけに最小限答えるという体質は、議員指摘の通りで、ある意味では不親切ということにもなる。聞かれなくても一定の範囲までは説明するということは重要なことであるので、そういう方向にもっていきたいと思っっている。そうすることが議会において内容の濃い議論になると思っている。職員に強く指導していききたい。

一般質問

議会2日目
9月11日(水)

④今村

好市 議員

まちづくりの骨格となる道路整備計画・
行政サービスの拠点である新庁舎建設計画は



利根・渡良瀬新橋の推進は

問・道路は安全で快適な町民生活を支え、地域経済の活性化・地域づくり、まちづくりの骨格となり、災害時の避難路として重要な役割を持つている。町内の国道・県道の整備計画と、利根・渡良瀬への新橋と関連道路構想は。答・都市建設課長 国道・県道の関係は、県土整備プランに基づき、事業が推進されている。町内においては、3路線を進めている。国道354号のバイパス整備が平成29年度完成を目指し、県道海老

瀬・飯野線の八間樋橋の架け替えが平成27年度完成の予定であり、県道斗合田・岩田・岡里線等の整備も進められている。

に、役場庁舎移転に伴う幹線町道の位置づけ、中学生の通学路の整備は。答・都市建設課長 基本的には一車線ではなく、二車線で通れる道路がいい。やはり一番は、直接生活にかかわる生活圏道路の整備を中心に進めていくのが良いと思う。

答・町長 利根・渡良瀬新橋は、相当な長期的な視野を見据えて、陳情活動が主になると思う。栃木・群馬・埼玉を巻き込む形で、積極的に進めて行きたい。

陳情・要望道路の整備状況
と、今後の整備方針は

幹線町道(通学路)の整備方針は

問・幹線町道(一級、二級、都市計画道路)の整備状況と、今後の整備方針は。特

答・都市建設課長 整備の順番を9項目につき点数をつけ、順番を決めて実施

町道予算を次年度に繰り越す理由は

問・センター用地は、庁舎建設等行政機能を集積するため、板倉川北部土地改良事業の非農用地を町が取得した土地。新庁舎建設が別の土地に決まったことによるセンター用地の今後の土地利用は。

答・都市建設課長 24年度から25年度に繰り越す町単独道路整備事業は、3路線で1,700万円。繰り越しの理由は、河川の協議、交通安全の協議、地権者の同意に時間がかかり、予定した年度内に事業が完了しないため繰り越したものである。

道路整備実施計画策定への提案

新庁舎規模と合併との関係は

①今後、町道整備事業予算を繰り越すことなく計画的に推進するため、また、国・県の交付金や国の緊急経済対策事業等を積極的に活用するために、審議会等を設置し、道路整備実施計画を策定して、計画的な町道整備を推進願いたい。

新庁舎の建設計画について

問・新庁舎の建築面積5,000㎡は合併を前提としているのか。

一般質問

議会2日目
9月11日(水)

⑤ 延山 宗一 議員

都市計画法による線引きを見直した土地利用
災害時の緊急情報通信体制の確保は



新たな土地利用の状況は

問・昭和52年、都市計画法により市街化を促進する市街化区域と、市街化を抑制する市街化調整区域と、区域を区分する線引きを実施しているが、新たな土地利用の現況は。

答・都市建設課長 本町の市街化区域は、西地区大字板倉、岩田の一部、大蔵地区、ニュータウン地区、合計面積395ヘクタール。それ以外は調整区域、面積3,789ヘクタール。過去5年間の新築住宅比率、市街化区域29%、調整区域73%となつてい

問・今後住宅の増える見込みのない地区については、状況を鑑み逆線引きを行い、地域の発展を図る必要があると思うが。

答・都市建設課長 地域を含め地権者の同意、事業を進めている場合の基本計画の見直しや、今後の方向性を協議しなければならぬ選択肢の一つであるが、関係機関と慎重に検討したい。

問・新庁舎建設予定地は、市街化調整区域となつている。周辺土地利用を見据え、線引きの見直しを検討しては。

答・都市建設課長 市街化区域の人口増加が計画どおり進んでいない状況の中では、区域の面積を増やすことは難しい。

問・マスタープランの中でまちづくりに取り組んでいるが、

答・町長 西地区と東地区それぞれの一部が市街化区域、以外全てが農振地区であることを含め、いろいろな意見を承つている。ニュータウン地区の土地利用の現状から、他地域を開発することは大義として理論的に負けている。一日も早く区切りをつけられるよう、全力を挙げ対処していく。それぞれの地区によって意見の違いがあるが、都市計画を含め、賛否の状況を分析し課題を解消しな

マスタープランの中でまちづくりに取り組んでいるが

問・マスタープランの中で町長は、おおむね20年後における都市及び地域の将来像を明らかにした町都市計画方針を策定、町づくりに取り組んでいるが、

答・町長 西地区と東地区それぞれの一部が市街化区域、以外全てが農振地区であることを含め、いろいろな意見を承つている。ニュータウン地区の土地利用の現状から、他地域を開発することは大義として理論的に負けている。一日も早く区切りをつけられるよう、全力を挙げ対処していく。それぞれの地区によって意見の違いがあるが、都市計画を含め、賛否の状況を分析し課題を解消しな

ければならない。実現するためには法律のハードルが非常に高いが、社会情勢の変化に対応し進めていきたい。

災害発生直前の情報伝達、警報の発信は

問・いつどこでも発生する自然災害に備え、板倉町地域防災計画が策定されている。災害発生直前の情報伝達、警報の発信は。

答・総務課長 水害の対応として、基準観測点が伊勢崎市八斗島水位観測所の水位により、町へ避難準備、避難勧告、避難指示と警報を発令。八斗島の水位が川俣の観測所まで到達に3時間と試算値が示されている。

問・河川の水位情報を得て、警戒を呼びかける規程として、本町においての注意喚起降水量とは。

答・総務課長 特別警報の発令が基準となるが、板倉町の50年に一度の値の雨量で、48時間連続雨量273mm、3時間連続雨量100mmの基準が設けられている。

災害発生時の通信手段は
問・災害発生時には、通信手段の確保が厳しくなる。国、県等からの通信手段、町の公共施設への通報は。

答・総務課長 群馬県の防災行政無線ネットワーク設置により情報を受信。停電時は自家発電装置を設置。関係機関との通信が可能。一般回線不能のときには、災害時優先回線を使用。役場、小中学校、保育園、各公民館へと通信手段は整備。また、国からの緊急情報を瞬時に伝達するJアラート起動装置を導入(26年4月運用開始予定)。通信連絡体制は確保されている。



▲無線で県の防災情報を受信

日本一子育てしやすい板倉町に
胃がんリスク検査導入を

一般質問

議会2日目
9月11日(水)

⑥ 秋山 豊子 議員



小規模校が抱える諸問題
小学校統合問題については

問・全国的に児童生徒は少子化により、減少の一途をたどっている。板倉町においても同様である。少子化などによる児童の減少に伴い、本町の小学校が小規模化している状況は深刻である。小規模校には良い点もたくさんあるが、入学から卒業までの6年間少人数のため、同一児童で学校教育を受けることになる。この環境が果たして十分とは考えがたいものがある。小規模校が抱える教育上の

諸問題を総合的に検討し、小学校統合問題について教育長に伺いたい。

答・教育長 小規模校のメリット、デメリット等あると思つている。教育環境とすると、自身の理想とする環境は、豊かな自然があり、歴史、伝統文化を持ち、教育への市民の支援があり、勤勉な教育、素直な子供たちがそろつた学習環境と思つている。大きく言うならば、メリットの部分を強調した中で運営し、デメリット面も少しでも改善する努力は必要である。

問・本町小学校の現状と課題は。

答・教育長 1学期に見た学校状況等を見ると、非常に各校ともうまく運営されていると思つている。現状の4小学校の児童数

は754人、1年生は115人。今後児童数は確実に減っていく。平成30年度は新1年生の数が100人を割つてしまう状況にある。今から長期展望と、さらに目の前の双方を同時に考えていきたい。

計画的に進めることが大事

問・町でも大きな事業を抱えている中であるが、子供たちのためにという1点において、計画的に進めていくことも大事である。この問題をどの位の年度で形にしていく考えか伺いたい。

答・教育長 平成27年度入学生が北小で6名というところで、当面はその対応とどう運営できるか解決させる必要がある。その次

の段階として町全体の長期展望が現在の頭の中心にある。

問・町長 ほとんど同じ考え方である。

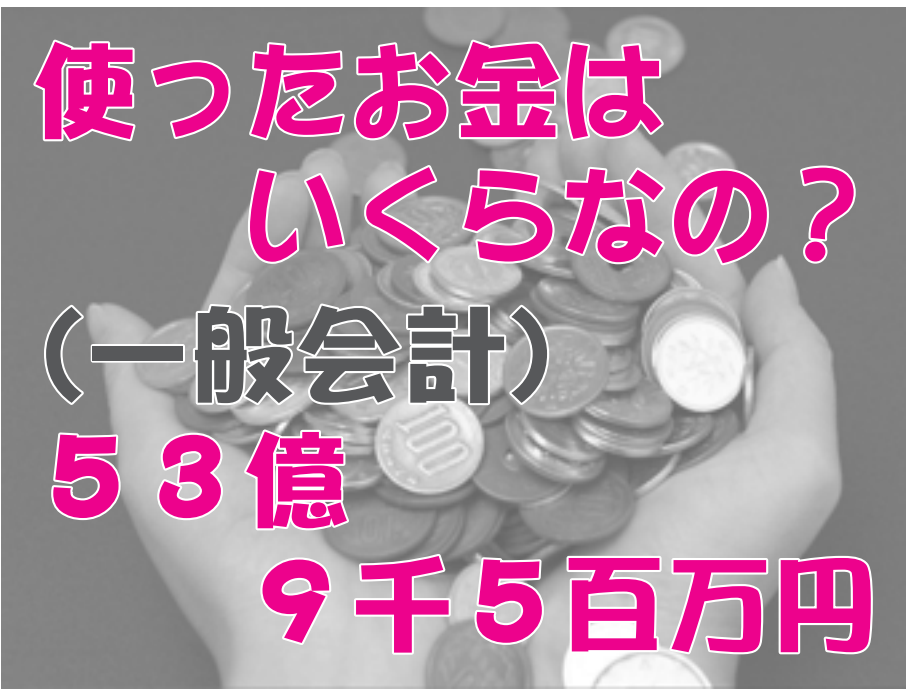
問・教育長 町長の答弁で、平成27年度からこの問題にかかわるといふ認識でよろしいか。

答・教育長 そう理解して結構である。

ピロリ菌検査項目を追加して
胃がんの早期発見、早期治療

問・国内で年間約5万人もの方が胃がんによつて亡くなつている。その大きな原因がヘリコバクターピロリで、日本人の感染者数は3,500万人にも上ると見られている。このピロリ菌は胃の粘膜に炎症などを引き起こし、胃がんの原因の一つとされる細菌で、この検査は血液を採取し、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を調べるものである。検査結果はA、Dの段階に分類され、胃がんを発症するリスクを判断する。40歳以上の町民が受ける特定健診の項目に





| | |
|------------------|-----------------|
| 決算額 | |
| 【1. 一般会計】 | |
| 歳入総額 | 60億1,162万7,727円 |
| 歳出総額 | 53億9,570万9,399円 |
| 差引残額 | 6億1,591万8,328円 |
| 【2. 後期高齢者医療特別会計】 | |
| 歳入総額 | 1億3,434万8,757円 |
| 歳出総額 | 1億3,038万5,249円 |
| 差引残額 | 396万3,508円 |
| 【3. 国民健康保険特別会計】 | |
| 歳入総額 | 21億0,530万9,659円 |
| 歳出総額 | 19億8,980万3,277円 |
| 差引残額 | 1億1,550万6,382円 |
| 【4. 介護保険特別会計】 | |
| 歳入総額 | 10億7,475万8,846円 |
| 歳出総額 | 10億5,052万8,453円 |
| 差引残額 | 2,423万0,393円 |
| 【5. 下水道事業特別会計】 | |
| 歳入総額 | 1億9,604万1,912円 |
| 歳出総額 | 1億7,668万7,559円 |
| 差引残額 | 1,935万4,353円 |
| 【6. 水道事業会計】 | |
| 収益的収入 | 3億1,102万6,733円 |
| 収益的支出 | 3億1,088万7,633円 |
| 資本的収入 | 5,647万0,000円 |
| 資本的支出 | 1億4,808万1,818円 |

平成24年度 決算(一般会計・特別会計)を 認定しました

9/20最終日
監査委員の意見書と共に町長から提出された、平成24年度一般会計及び特別会計(地方自治法233条) 決算について審議し、可決・認定しました。

決算審査意見書

【審査期日 平成25年8月21日(水) 監査委員 高瀬博通 青木秀夫】
総括的意見 平成24年度においては、一般会計及び特別会計並びに水道事業会計を通じた決算は、その計数に誤りがなく、適切な予算執行がなされていたものと認めます。各会計とも非常に厳しい財政運営のもと、総体的には、有効かつ適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会の発展に努力されており、行政目的が大方達成されたものと評価いたします。
今後、地方分権、行財政改革を推進していくうえで、これらの趣旨を十分認識し、健全な財政運営の堅持になお一層の努力を期待するものであります。

一般会計 主な質疑
認定第1号 平成24年度 板倉町一般会計歳入歳出 決算認定

市川議員
税の滞納回収に大変な努力をされているのは評価できるが、税金を納めている方のためにもより目標を高く掲げて努力すべきではないか。

戸籍税務課長
税の公平性を考えれば担税力のある方は町としてきちんに対応していくべきだと思っ
森田議員
税の公平性を考えれば担税力のある方は町としてきちん
今後、引続ききつちり対応したい。

環境水道課長
ごみ処理における操業委託料2,860万円、設備点検で268万円とあるが、創業時より想定されていたのか。

荒井議員
子宮頸がん等ワクチン接種事業で中学1年生から高校生224名、約50%の方が受診した。全国で副作用などが報告されているが、被害調査

等を行ったのか。

A 健康推進係長
224名の方が子宮頸がんワクチンを接種したが、今のところ副作用等の報告はありません。

延山議員
防犯灯2,652基が設置され年間855万円が電気料として支払われている。新規でLEDの防犯灯が増えてきたが、従来の防犯灯との電気料の差額はどれくらいか。

A 総務課長
防犯灯2,652基の内609基のLED式防犯灯が設置されている。従来の蛍光灯方式防犯灯の3分の1程度の電気料になっている。更新時にはLED式防犯灯を進めていきたい。

Q 小森谷議員
公民館で利用している図書システムは、4つの公民館で年間約286万円を支出している。平成19年度の決算書をさかのぼって見てもずっとシステム委託料として支払っている。図書の貸し出しや蔵書管理について、毎年これだけ

のシステム料を支払わないと運営できないのか。

A 教育委員会事務局長
図書システムを使い、4つの公民館の本とDVDを合わせて約3万冊の蔵書管理と図書の貸し出しを行っている。またこのシステムを利用することによって、インターネットを使って本の検索や図書の予約までできるもの。平成15年度に導入して10年が経過、若い人が使っていることを考えると今後も引き続き利用して行きたいが、費用対効果を考えて検討していきたい。

Q 川野辺議員
板倉中学校のプールが夏休み期間中に解体されたが、跡地の利用の活用が決まっているのか、今後の方向性が分かれば教えていただきたい。

A 教育委員会事務局長
プールの跡地利用は、中学校と相談したところ、現在、陸上競技のフィールド競技を行う場所がないので作ってもらいたいとの要望があり、走り幅跳び、砲丸投げ、高跳びの3つの種目の整備を進めている。またあわせて野球場の

1塁側に防球ネットも整備したい。

Q 秋山議員
町営住宅管理事業について、部屋が空いたら募集するという説明があったが、入居者はどういった方法で決めているのかを伺いたい。

A 都市建設課長
町営住宅の入居者募集については、部屋が空き次第、随時募集を行っている。ただし、修繕が必要な場合は修理後に募集をかけている。また入居については、応募者多数の場合、抽選で入居者を決定している。

Q 今村議員
町長の特命事項で設置された企画財政課内の合併対策推進室、産業振興課内の企業誘致推進室、都市建設課内に八間樋橋建設推進室について、平成24年度の具体的な執行状況を伺いたい。

A 企画財政課長
合併対策事業については、何も実施していない状況であるが、近隣で合併した市町のホームページ等で掲載された

資料を逐一収集している状況にある。また、明和町の6月定例議会一般質問において、議員から合併についての質問を受け、明和町長が合併はせず広域化を推進していきたいという回答を行ったという情報は得ているが、実際、合併については、なかなか具体的な動きが取れない状況である。

A 栗原町長
合併推進室設置の大きな仕事である調査業務等については、アンケートも取り、先行自治体で合併のメリット、デメリットも調査しているの想定した範囲内での業務は終了している。今後、合併についての新しい話し合いが出たときのことも考え、最低限の予算で置いておくべきと考えている。

A 産業振興課長
企業誘致関係については、産業政策係が中心に進めている。県、企業局、町が一体となり、説明会やイベントへ出席して積極的にPRしている。また企業が現地調査へ来た場合は、即対応できるように体制を整えている。

A 都市建設課長
八間樋橋推進室については、予定通りに工事が完成するように県と折衝し細かいところまで詰めている。設計の関係、河川協議等があるが、計画通りと行くように、より一層努力して進めていきたい。

Q 黒野議員
渡良瀬川及び利根川架橋整備事業について、渡良瀬川では栃木市、利根川では加須市とあるが、現在の進捗状況を伺いたい。

A 企画財政課長
新橋については、栃木市と加須市にかかわるものでなかなか進捗できない状況。当面の目標としては、本町、栃木市、加須市と協議会を立ち上げたいと考えている。

A 栗原町長
新橋の関係については、両市長には賛同は得ており、事務レベルではすでに3回の合合を開いている。加須市とはいつでも協議会は立ち上げられる状況になっていると感ずられる。栃木市については、市長選が近く予定されているた

◆決算認定(平成24年度 一般会計、特別会計質疑)

公民館で利用している図書システムは、4つの公民館で年間約286万円を支出している。平成19年度の決算書をさかのぼって見てもずっとシステム委託料として支払っている。図書の貸し出しや蔵書管理について、毎年これだけ

のシステム料を支払わないと運営できないのか。

1塁側に防球ネットも整備したい。

資料を逐一収集している状況にある。また、明和町の6月定例議会一般質問において、議員から合併についての質問を受け、明和町長が合併はせず広域化を推進していきたいという回答を行ったという情報は得ているが、実際、合併については、なかなか具体的な動きが取れない状況である。

新橋については、栃木市と加須市にかかわるものでなかなか進捗できない状況。当面の目標としては、本町、栃木市、加須市と協議会を立ち上げたいと考えている。

議 会 日 誌

◆8月

- 3日 板倉まつり
- 5日 渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会総会
- 9日 利根川治水同盟大会／板倉町体育協会常任理事会
- 15日 平成25年度群馬県戦没者追悼式
- 17日 灯籠流し
- 18日 板倉町婦人防火クラブ連合会視察研修
- 20日 議員協議会
- 22日 邑楽郡町村議会議長会臨時会／板倉町体育協会理事会
- 23日 メガソーラー太陽光発電竣工式／議会運営委員会
- 27日 議会改革特別委員会
- 30日 国道354号整備促進協議会

◆9月

- 10～20日 9月定例会（本会議、一般質問、所管事務調査、決算事務調査）、議員協議会、議会広報特別委員会
- 13日 老人会グラウンドゴルフ大会
- 24日 農業資金審査会
- 25日 例月出納検査
- 27日 一部事務組合議会臨時会
- 28日 各地区小学校運動会／敬老の集い

◆10月

- 2～4日 郡議会議長・事務局長合同県外視察研修
- 5日 北保育園運動会
- 6日 北部公民館利用団体発表・展示会
- 7日 野木町町制施行50周年記念式典
- 8～9日 監査委員全国研修会
- 8日 国道354号整備促進連絡協議会 埼玉県要望
- 10日 議員協議会
- 13日 第49回町民体育祭
- 18日 議会広報特別委員会
- 22日 議員協議会
- 24日 県議会議長会町村議会議員研修会
- 29日 邑楽郡町議会議員親善スポーツ大会
- 30日 例月出納検査
- 31日 一部事務組合議会10月定例会

我が家の宝物「柿の木」の思い出 議長 野中嘉之



議長室エッセイ

私は1943年生まれの70歳ですが、物心ついた時すでに彼（柿の木）は今とほとんど変わらない、堂々とした風貌でした。（樹齢推定130年から150年）彼はいつも我が家の中心に位置し、私の家族を見つめてきた。喜びも悲しみも全て知り尽くした生き証人であります。もし彼が話をされたら、どんなに楽しいことかワクワクします。春には新芽を吹き出し、その後可憐な小さな花を咲かせ、夏は暑い日差しを遮るように肉厚の葉が覆い、秋には枝が折れそうにまで赤く熟れた甘い実をつける。その柿を腹いっぱい食べたものです。高いところはヒヨドリやムクドリ、さらにメジロ等が美味しそうについばんでいる。小鳥達にとっても大事な木となっている。それは、長年私達家族をはじめ多くの小鳥達の命を育ててきた柿の木といえよう。特に私は子供の頃、登ってよく遊んだものだ。夏の暑い日は枝にハンモックを作り、涼をとったのが思い出される。後に、柿の木は枝が折れやすい木ということを知らされた。そんな柿の木ですが、今年も多くの熟れた実をつけ、小鳥達がついばんでいます。まだまだカンバレ。

● ボールをつないで元気いっぱい楽しむ

● 町民体育祭参加

- 10月13日(日)、さわやかな秋晴れの中、板倉中学校校庭で第49回町民体育祭が開催されました。町議会議員も町執行部とともに、ボールカル



- テットリレーで運動会競技に参加して、町民と議員間の交流、運動不足の解消に励みました。

● 議会の役割、復興の悲しみ苦しみを学ぶ

● 町村議会議員研修会



10月24日(木)、吉岡町文化センターで群馬県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が行われました。研修会では、「町村議会に期待する」と題して、東京大学大学院 金井利之教授が、また「あの東日本大震災津波から2年、その経験と教訓を語り継ぐ」と題して、岩手県大槌町 平野公三総務部長がそれぞれ講演されました。講演では、町村における議会の役割、津波で被災した経験と報道では伝わらない悲しみ、苦しみを学びました。

- と題して、東京大学大学院 金井利之教授が、また「あの東日本大震災津波から2年、その経験と教訓を語り継ぐ」と題して、岩手県大槌町 平野公三総務部長がそれぞれ講演されました。講演では、町村における議会の役割、津波で被災した経験と報道では伝わらない悲しみ、苦しみを学びました。

● 郡内議員がグラウンドゴルフで交流会

● 親善スポーツ大会

- 10月29日(火)、千代田町東部運動公園で邑楽郡町村議会議長会主催の第11回親善スポーツ大会でグラウンドゴルフが行われました。団体戦は、各町上位5位までの2ラウンドのトータルスコアの打数が少ない順で競われ、前年度準優勝だった板倉町議会は、今年も準優勝となりました。

- 優勝：邑楽町議会
- 準優勝：板倉町議会
- 第3位：大泉町議会



◆決算認定（平成24年度 一般会計及び特別会計質疑）

Q 荻野議員
土地改良事業が各地区で行われてきたが、今後南地区で計画されている五箇谷土地改良事業に向けて、参考に内郷土地改良事業の負担率等の内容を伺いたい。板倉町の農業も後継者問題などの課題を抱えている。南地区としても20年来の実が結びつつある中で、全力で進めてもらいたい。

A 産業振興課長

内郷土地改良事業については、当時は補助率が高く、国が50%、県が30%、町が10%、地元負担10%で実施された。五箇谷土地改良事業については、国が50%、県が27.5%、町10%、地元負担12.5%で進めている。規模は100ヘクタールで計画されており、平成27年度に採択着手できるように、地元の理解を得ながら地元役員と協力し合い必要

Q 青木議員
書類を整えている。

Q 戸籍課長
固定資産税の課税方法について、全国的に地価が下落傾向になり既存の宅地の地価も相当落ち込んでいると思うが、課税に当たり調整率というものがあると聞かすが、分かりやすく説明してほしい。

A 戸籍課長
宅地については、評価額に減点補正等をかけて課税標準額に置きかえて課税しているが、それを地価公示の7割に徐々に調整していく制度になっている。負担調整で調整が必要な宅地については、その制度を適用している。

A 特別会計 主な質疑

認定第2号 平成24年度 板倉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
認定第2号は質疑なく原案のとおり、可決されました。
認定第3号 平成24年度 板倉町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
認定第3号は質疑なく原案のとおり、可決されました。

Q 青木議員
医療費の不正請求に関し、

県及び厚労省の調査結果については、どのような回答を受けているのか。

A 保険医療係長
不正請求の結果について、再三再四にわたり県、国に報告を求めてきたが、守秘義務があり答えられないという回答のままである。今後、町の対応としては、町長、議会とともに最善の方策を検討したいと考えている。

認定第3号は、その他の質疑なく原案のとおり、可決されました。

認定第4号 平成24年度 板倉町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
認定第4号は質疑なく原案のとおり、可決されました。

認定第5号 平成24年度 板倉町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
認定第5号は質疑なく原案のとおり、可決されました。

認定第6号 平成24年度 板倉町水道事業会計決算認定
認定第6号は質疑なく原案のとおり、可決されました。

※9月定例会の会議録は、12月上旬に町ホームページで公開されます。

道州制導入に断固反対する意見書の提出

◆道州制導入に断固反対する意見書の提出について、最終日に議員発議により議案が提出されて採決の結果、賛成多数で可決されました。要旨については、以下のとおりです。

- 意見書が、会議規則第13条第1項の規定により提出されました。
- [提出者及び賛成者]
提出者 板倉町議会議員 青木秀夫
賛成者 " 市川初江
" " 延山宗一
" " 川野辺達也
" " 今村好市
- [趣旨説明]
意見書の提出については、本年8月21日付けをもって、全国町村議会議長会から都道府県町村議会議長会を介し、全国一斉に町村議会へ要請があったものです。板倉町議会としても、議員全員で協議を行った結果、提出すべきとの結論に至り、議会運営委員会に所属する各議員の賛同をいただき、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出するものです。その理由として、政府与党が道州制の導入を検討していることは、私達も認識しているところではあるが、地方に対する内容等の説明が、未だ一切行われていない状況です。具体的な形が示されないまま、導入ありきに進められては、住民自治の崩壊にもつながりかねません。全国町村議会議長会は、平成20年度以来、町村議会議長会全国大会において、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと」を決議しており、政府・国会に対し、要請してきています。板倉町議会としても、全国町村議会議長会の要請に答えるべく、道州制導入に断固反対する意見書を提出するものです。
- [採決結果] 賛成多数

豊

かな心を持つ子どもたちのために

町の未来のため、少子化対策をく 大字下五箇 白濱真紀さん



「同級生が8人」って、どう考えますか。先日、「少子化が及ぼす教育への影響」という記事をみました。我が子が通

う小学校も全校生徒125名と、決して多くありません。小学校の運動会に参加して、表現や鼓笛で生徒と先生の信頼関係・親子競技や応援で親子の絆、そして地域の方々の温かい見守りを感じる、素敵な運動会でした。小さい学校にはこんな良い所もあります。一方、年々入学者は減って

『傍聴してみませんか』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会（12月議会）は、12月10日(火)からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、議会事務局 82-1111 内線511番までお気軽にお電話ください。

Table with 4 columns: 期日, 会議名, 開議時刻, 事項. Rows include dates from 12月10日 to 12月17日 and meeting types like 本会議, 委員会, 一般質問.

心

の豊かさを育む心の教育に期待

相手に対する思いやりの心をく 朝日野 那須野里織さん



小学生の子どもを持つ母親として関心が高いことは、「教育」です。板倉町では年に数回の漢字や算数の統一テスト

が行われています。目標を設定し、がんばる子ども達を見ていると、基礎学力向上に効果的で、今後も続けていたいただきたいと思います。一方、不安に感じていることは、通信機器の発達を理由にしてはいけないとは思いますが、子ども達から相手に対する思いやりの心が欠け始め

編集後記

季節もすっかり秋めいてきました。ようやく猛暑が去りほっとしたのも束の間、地球温暖化の影響なのか、日本各地で予想もつかないような大雨、突風や竜巻といった自然災害が多く発生しています。板倉町も利根川と渡良瀬川に挟まれた地形にあります。カスリン台風時の水害から約66年が経過し洪水に対する意識が薄らいできています。「備えあれば憂い無し」と言うように、自宅、職場で災害に対する方策を日頃から積み重ねることが、特に大切な事ではないでしょうか。

話は変わりますが、消費税率が来年4月1日に、現在の5%から8%に引き上げることが決まりました。3%の増税分は全て年金や介護、保育などの社会保障制度に充てられる事になっていますが、それ以外には本当に使って欲しくないと思います。（議会広報特別委員 川野辺達也記）